

「東日本大震災における災害時要援護者支援」

平成24年6月24日（日）

【フォーラム】 14時30分～17時30分／福祉プラザさくら川（東京都港区新橋6丁目19番2号）
 【交流意見交換会】 18時00分～19時30分

認定特定非営利活動法人災害福祉広域支援ネットワーク・サンダーバードは、災害時における要援護者支援を具体的に考え、いざという時に迅速かつ適切に機能する支援ネットワークとそれを支えるしくみとを構築することを目的として活動を続けています。

この度は、研修・啓発事業として実施している「研修フォーラム」のご案内をさせていただきます。

今回の「第12回研修フォーラム」のテーマは、「東日本大震災における災害時要援護者支援」です。

平成23年3月11日に発生した「東日本大震災」の発生以降、災害福祉広域支援ネットワーク・サンダーバードでは、さまざまな角度から被災地の支援を行ってきました。現在も、仮設住宅サポートセンターへの支援を継続しています。今回はそのご報告と、支援の過程で見えてきた、被災地の現状と今後の課題について、現地指令本部となって調整を続けている宮城支部の野田毅よりお話をさせていただきます。

あわせて、今回の震災の被害を大きくした要因のひとつである原発事故について、東海村臨界事故の際、茨城県立中央病院院長として活動した大倉先生と、今回の原発事故において福島第1原発内診療所等で支援活動を展開した原口先生からお話をうかがいます。

災害から災害時要援護者を守るためには、さまざまな分野のお力と連携が不可欠です。是非この機会にご参加いただきますと共に、多くの方にお声かけいただきますよう、よろしく願いいたします。

はじめに 小山 剛（災害福祉広域支援ネットワーク・サンダーバード代表理事）

講演Ⅰ「東日本大震災における災害時要援護者支援」（仮題）

野田 毅（災害福祉広域支援ネットワーク・サンダーバード宮城支部）

講演Ⅱ「原子力災害から災害時要援護者を守る」（仮題）

大倉 久直（医師・介護老人保健施設にんじん・元茨城県立中央病院院長）

原口 義座（医師・介護老人保健施設にんじん・元国立病院機構災害医療センター臨床研究部）

<定員> 80名（定員になり次第締め切らせていただきます）

<参加費> 5,000円（会員4,000円）／ 交流意見交換会参加者は別途5,000円

※ キャンセルは3日前までをお願いします。その後は参加費をご負担いただくことになります。

<申込方法> 以下の参加申込書にご記入の上、メールもしくはファックスでご返信ください。

※ お申込みを確認次第、参加票をお送りさせていただきます。参加票が届かない場合は、通信のトラブル等も考えられますので、お手数ですが企画室までご連絡をお願いいたします。

第12回研修フォーラム 参加申込書

ご氏名・ご所属	ご連絡先	フォーラム	交流会
ご氏名	(〒)	参加	参加
ご所属	TEL FAX MAIL	不参加	不参加

認定特定非営利活動法人災害福祉広域支援ネットワーク・サンダーバード 企画室

〒110-0001 東京都台東区谷中3-6-16 大輪ビル3階B室 TEL:03-5832-9943 FAX:03-5832-9964

MAIL: thb001@thunderbird-net.jp

○印をおつけください